

# 光る！ 共産党の役割

4年ぶりに復活した、日本共産党の議席 —

いっせい地方選挙後、初の本格的な論戦となる6月定例会（6月17日～7月14日）。日本共産党の2人の議員は、知事提案には「なんでも賛成」のオール与党議会にあって、県民の切実な願いを届け、命とくらしを守る役割をいかに発揮しました。



山口 律子  
日本共産党・県議会議員

高瀬 菜穂子  
日本共産党・県議会議員

**県議会  
6月  
定例会**

## 請願紹介、子ども医療費助成拡充 県民要求の担い手

小6まで



県議選での最重点公約のひとつ、**子ども医療費助成制度**が、来年度中に小学6年まで拡充することがほぼ決まりました。必要予算は小6まで19億円、中3まで29億円（現在の負担割合で）、ダム予算260億円のほんの一部です。引き続き中学3年までの拡充を求めました。

## 「ムダづかいやめよ」 チエツク機能復活



不要なダム建設や工業団地造成、高速度道路の人工島への延伸など、ムダな開発予算にキツパリ反対。消費税増税による県税収入の大幅な伸びは本来社会保障費にあてるべきと主張し、抜本的な政策転換を要求しました。

## 戦争法案、原発再稼働ストップ 国の悪政に待った！



過半数の国民、県民が反対している戦争法案や原発再稼働問題は、県民の安全・健康・財産を守る上でも重大な県政問題です。日本共産党は「戦争法案は反案

	共産	自民	民主	公明	緑友	真政	立志
●安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書案	○	×	×	×	×	×	×
●川内原発再稼働急がず、規制基準の抜本見直し求める意見書案	○	×	×	×	×	×	×
●認知症への取組の充実強化に関する意見書案	○	○	○	○	○	○	○
●畜産クラスター関連事業の継続・拡充を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○
●私学助成の拡充に関する意見書案	○	○	○	○	○	○	○

意見書案に対する  
各党派の態度

### 継続審査となった請願

- 「安全保障関連法案の閣議決定・国会提出に抗議し、撤回を求める」意見書を国に提出することを求める請願（共産党紹介）
- 子育てへの県支援充実を求める請願（共産党紹介）
- 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択に関する請願（共産党紹介）

### 日本共産党県議会議員団



【小倉南区】

**高瀬 菜穂子**

県議3期  
厚生労働環境常任委員  
国際交流スポーツ振興調査特別委員



【若松区】

**山口 律子**

県議2期  
建築都市常任委員  
生涯健康安心社会調査特別委員



# 戦争法案も 原発再稼働も

ぜったいに許さない!

原発はいらない

再生可能エネルギーへ転換

500万県民の命と安全を預かる知事にただす

## 山口議員の一般質問



政府に「オスプレイ 配備断念」を求めよ

「憲法9条を根本からこわし、アメリカの起こす戦争に自衛隊が参加、支援するための法案だ」――戦争法案の違憲性を指摘した山口県議。「廃案にすべきだ」と主張し、県民の生命・財産を守るべき知事としての見解をいただきました。

小川知事は、「安全保障は国の専管事項」「国会審議を見守る」と答弁を避けました。

憲法違反の戦争法案は廃案に

関連して佐賀空港へのオスプレイの配備計画について、佐賀県と連携して政府に配備断念を迫るよう要求しました。

知事は「重大な関心を持っている」とし、「①県内での飛行頻度と時間、②県内の飛行経路と高度、騒音の程度、③ノリ養殖に対する影響など、具体的に示すよう再三国に申し入れている」ことを明らかにしました。



## 高瀬議員の一般質問



知事は川内原発再稼働反対の表明を

県議は、九州電力川内が原子力発電所について「再稼働反対」を知事が表明するよう強く求めました。

小川知事は「安全性について国が責任をもって確認し、国民に十分な説明を行うって理解を得ることが必要」と答弁、再稼働実質容認の立場を示しました。



また、玄海原発から50km圏の福岡都市圏150万人の避難計画について、原子力規制庁が「避難は困難」としていることをあげ、「防災計画は万全と言えるのか」と高瀬県議がただしたのに対し、知事は「放射線量の実測値等をふまえ、避難先の調整を行う」と、福島原発事故の教訓をなんら踏まえない無責任な答弁に終始しました。

防災計画は万全と言えるのか

建設的提案

## 日本一高い 後期高齢者医療 保険料引き下げを!

日本一高い福岡県の後期高齢者医療保険料、制度の創設以来3回連続値上げされています。高瀬議員は、基金残高61億円のうち14億円を活用すれば値上げせずに済んだことを指摘。20県が保険料値下げ、12県が保険料率を据え置いている事

保険料額引き下げた20道府県  
北海道、青森、秋田、山形、栃木、群馬、埼玉、新潟、富山、石川、福井、山梨、静岡、京都、大阪、広島、香川、高知、熊本、大分

保険料率据え置いた12県  
青森、秋田、茨城、新潟、富山、石川、福井、香川、高知、熊本、大分、沖縄

実を示しその姿勢を厳しく追及しました。また県が平成26年度、27年度と連続して保険料減額につかえる基金の積み増しを行わなかったことを批判し、重ねて減額を要求しました。



## 正規雇用で教員不足解消を!

「学生に臨時免許」一福岡県の教員不足は学生に頼らざるを得ないほど深刻、昨年度の臨時免許授与者は342人、うち小学校は135人です。それでも始業式までに間に合わなかった先生の必要数は98人です。非正規雇用率が全国ワースト2位の福岡県は、毎年4千人もの非正規の先生を採さなければならず、過酷な教育現場で早期退職も3年間て1100人と続出。高瀬議員は「正規雇用の教員を増やす立場で、教員採用試験の上限年齢緩和を」と提案、強く解決を求めました。

臨時免許授与件数 (H26年度)

	福岡	北九州	北筑後	南筑後	筑豊	京築	私立	合計
小学校	40	17	23	10	19	26		135
中学校	33	18	20	16	32	16	16	151
特別支援学校	15	10	9	10	1	11		56
合計	88	45	52	36	52	53	16	342